

# のぞましい家庭教育のしおり

## ～交通安全は、玄関から～

「止まって、右見て、左見て、右見て、後ろ見て、手を挙げて渡ります」

「横断歩道の手前では、大きく2歩下がります」

「道路は、右はしに寄って歩きます」

子どもたちの元気な声が体育館に響き渡りました。1学期の初め、低学年を対象に「安全な歩き方教室」が行われました。道路や交差点を想定して信号機や横断歩道を模したものを体育館いっばいに配置し、歩行の仕方を学びました。指導員さんが子どもたちに「自分の命を守る」ために大切なことを教えてくださいました。「目と耳を使って、よく見てよく聞いて歩く」「何を見なければいけないのかを考える」ということです。その中で一番心に残ったのが、「交通安全はおうちの玄関から始まっています」ということばです。玄関を出るときから「止まる、見る、聞く」を意識しましょうということです。

以前、朝のラジオで聞いたことです。交通死亡事故は、欧米では自動車運転中が多い一方、日本では歩行中や自転車乗車中の死亡が多いそうです。その多くは、自宅周辺500メートル以内の生活道路とのことです。家の近くだと安心して油断してしまうのかもしれない。よく知っている家の周囲こそ、気を緩めることなく、学んだことを実践してほしいと思います。また、自動車を運転する私たち大人も「子どもが飛び出してくるかも」「物かげに子どもがいるかも」といつも心に留めておく必要があります。

私の子どものことですが、部活をするために学校に向かっている途中、交通事故に遭いました。自転車横断帯を走行中、自動車と接触してしまったのです。幸い、自転車の前輪がゆがんだだけで済みましたが、一瞬遅れていたらと思うと、何年も過ぎた今でも心がざわつきます。そのとき、警察官から「横断歩道だと思って安心しないで、120%の注意をはらってください。頭の後ろにも目を付けてください」と言われました。

出かける家族を送り出すとき、「いってらっしゃい、車の運転に気を付けてね」「いってらっしゃい、車が来ないかよく見てね」の一言を添えることを心がけてみてはどうでしょうか。



一人で悩まないで、まず相談を

・刈谷市 **子ども相談センター** ～子どもに関する相談の総合的な窓口～

月～土曜：9時～17時(国民の祝日・年末年始を除く)

☎：62-6313 電話相談・来室相談

・刈谷市 **青少年電話相談** ☎：23-8888 月～金曜 9時～17時

・県教育相談 **こころの電話** ☎：052-261-9671 10時～22時

